

山鳥坂ダム工事事務所
野村ダム管理所

鹿野川ダムと野村ダムが力を発揮し、 下流の浸水を軽減しました。

- 肱川流域では梅雨前線の影響により、6月30日午後から7月1日午前にかけて断続的に強い雨が降り、鹿野川ダム流域平均累計雨量129mm、野村ダム流域平均累計雨量157mmの降雨を記録しました。
- 肱川上流域の鹿野川ダム及び野村ダムでは洪水貯留を行いました。鹿野川ダムにおいては最大流入量毎秒926立方メートルの約60%を貯留、野村ダムにおいては最大流入量毎秒380立方メートルの約20%を貯留しました。
- これにより、河川の水位を下げ菅田地区の浸水被害を軽減することができたと考えられます。国道56号の肱川橋地点では、ダムで洪水を貯めなかったよりも最高水位を約80cm下げたと考えられます。
- 肱川流域においては平成16年、17年、23年と度重なる被害に見舞われていることから、これからの本格的な台風シーズンに備え引き続き万全の体制をとっていきます。

平成27年7月2日
国土交通省 四国地方整備局
山鳥坂ダム工事事務所
野村ダム管理所

(問い合わせ先)

国土交通省 四国地方整備局 山鳥坂ダム工事事務所 鹿野川ダム管理庁舎
電話 (0893) 34-2350

副所長 渡邊 健二 内線 (204)
◎事業計画課長 新川 和之 内線 (331)

国土交通省 四国地方整備局 野村ダム管理所

電話 (0894) 72-1211
管理所長 武本 謹二 内線 (201)
◎管理係長 久次米 康勝 内線 (332)

◎主な問い合わせ先

鹿野川ダム・野村ダムの効果を発揮

肱川上流域における降雨状況

・6月30日午後から7月1日午前にかけて、肱川流域全域で、梅雨前線の影響による強い雨が降りました。

雨量	鹿野川ダム流域平均	累計129mm（最大17.1mm/時間）
	野村ダム流域平均	累計157mm（最大21.8mm/時間）

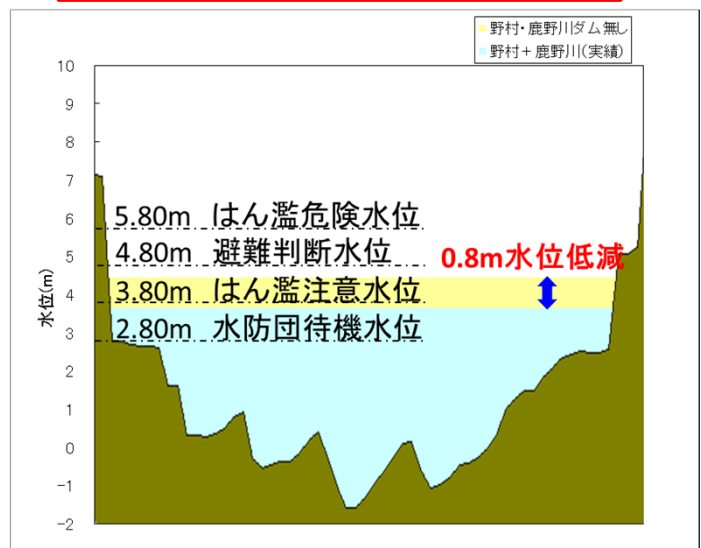
ダムによる洪水貯留の結果

・この降雨により肱川下流域では浸水被害が生じるおそれがあることから、中上流域にある「鹿野川ダム」と「野村ダム」では洪水を貯める操作を行いました。
・鹿野川ダムではダムに流入した最大毎秒926立方メートルの洪水の約6割、野村ダムでは最大毎秒380立方メートルの洪水の約2割をダムに貯めることにより、下流に流れる洪水の量を減らしました。
・これにより、河川の水位を下げ菅田地区の田畑等の浸水被害を軽減することができたと考えられます。国道56号の肱川橋地点ではダムで洪水を貯めなかったよりも最高水位を約80cm下げたと考えられます。



鹿野川ダム・野村ダムによる洪水貯留効果

大洲第二水位観測所（肱川橋）



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。